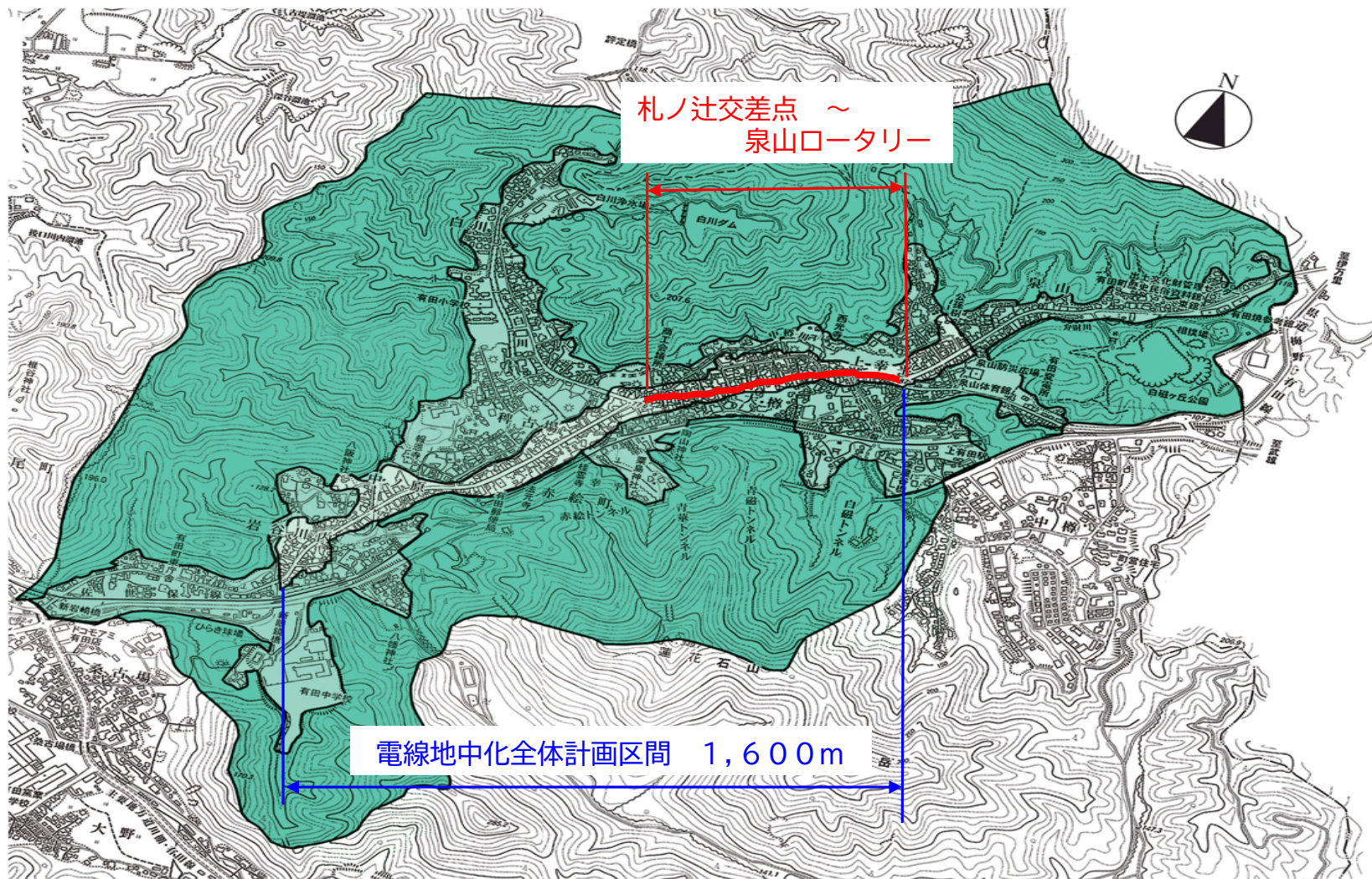


～ 電線地中化の現状① ～

- 風致保全地区 (272.4ha)
- 歴史的景観形成地域 (88.5ha)
- 伝統的建造物群保存地区 (15.9ha)



内山地区 電線地中化による景観活用

現在の状況と電線地中化事業 完了後のイメージ



整備前



整備後



整備前



整備後

内山地区 電線地中化による景観活用

～ 景観活用の現状 ～

【現 状】

- 建物等（伝統的建造物群）の整備保存は、平成3年から開始し、これまで123件整備済み毎年、数件程度の改修を実施
- 有田陶器市などイベントによる内山地区（伝統的建造物群）への集客
- 有田陶器市などの際、伝建建物の活用（商売）
- 伝建建物を活用した異業種の出店（飲食店、アクセサリー）
- 電線地中化事業の完了予定は、令和5年度（札の辻交差点～泉山ロータリーまで）
※札の辻交差点から下（西側）の整備は、着手の時期未定

内山地区 電線地中化による景観活用

～ 景観活用の課題 ～

【課題】

- 伝統的建造物群を活かした集客に繋がっていない
- どこまでが伝統的建造物群の指定区域かわかり難い
- 伝建に指定された建物の価値等がわからない（外観見ても）
- 伝建指定の建物に居住されており、内部の公開が難しい